

## 第1章 平成28年熊本地震の真実

- 熊本地震は本当に「前例のない地震」だったのか 28
- 活断層は大地の古傷にすぎない 32
- プレート説を覆す「熱移送説」とは何か 35
- 地下の熱エネルギーが地震を引き起こす 40
- 地震のプロセスを計算した熱機関説 45
- 火山と地震はペアで発生する 51
- 想定外の連続だったプレート説 57
- プレート説で地震は予知できなかった 61
- 一人二役を演じるマグマの働き 64

- 大地の変動はマグマに支配されている 69
- 観測強化地域の解除が物語る真実 74
- 西日本で注目される3つの熱移送ルート 78
- これから直下型地震が発生しやすい地域はどこか 83

## 第2章 熱移送説とは何か

- 熱移送説で予言していた四川大地震 92
- 深い「根」を持つプレートが動けたか？ 95
- マントルトモグラフィで地球の中を見る 98
- つい最近まで地球内部は謎だらけだった 102
- 可視化技術で明らかになった熱移送説 107
- 熱伝達の特徴ではつきりした「地震の癖」 113

- 熱エネルギーこそ地球の活動の源 120
- 二十数億年前に起きた最初の大地震 123
- 高温から中温の場所でしか地震は起こらない  
これが東日本大震災発生メカニズムだ 131
- 最大の噴火は最大地震の1000倍！ 137
- 地震予知に応用できる「火山と地震の起こり癖」 142

### 第3章 次の震度7の危険地帯はどこだ

- 伊豆諸島の熱流と関東地方の「地震の癖」 150
- 富士山の噴火は起こらないのか？ 154
- 地震が繰り返して起こる「埼玉地震帯」 158
- 注意が必要な首都圏南西部の動き 161

### 第4章 首都圏直下型地震にどのように備えるか

- 地塊から地塊へ移る首都圏の「地震の癖」 164
- 30〜50年周期の南からの熱が関東の地塊を動かす  
「伊豆諸島で起こる噴火や地震の癖」に基づく予測 169
- 首都圏南部での「地震の飛び跳ね」は赤信号 178
- 地震予知体制の抜本的見直しが急務 186
- 地震の癖と同時に「揺れ癖」も把握する 189
- 地震の被害は3種類に分類される 192
- 「ドスン揺れ」による被害を防ぐ 197
- インフラの地震対策はいかにすべきか 200
- 「被害が被害を生まない」減災システムの構築 203

首都圏の被害カルテから対策を考える	208
実際に地震に遭遇した場合の対処方法	214
まず、「わが家の地震カルテ」をつくろう	218
常に地震情報を集めて意識を高めておく	222

おわりに

角田史雄

225

装丁…印牧真和

装丁写真提供…松代地震センター